



平成26年 5月 7日

各 位

株 式 会 社 関 門 海
代表取締役社長 田中 正
(コード番号：3372 東証マザーズ)
問合せ先 経営支援部シニアマネージャー
田淵 広宣
電 話 番 号 06-6578-0029 (代表)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、当社の店舗閉鎖に伴う特別損失および、関係会社整理損失引当金繰入額を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、平成 25 年 11 月 13 日に開示いたしました平成 26 年 3 月期通期の業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社グループは、平成 26 年 3 月に当社店舗 1 店舗を閉鎖したことにより、連結財務諸表におきまして新たに 24 百万円の店舗閉鎖損失を特別損失として計上いたしました。

また、個別財務諸表におきまして、上記店舗閉鎖損失に加え、本日開催の取締役会において、平成 27 年 3 月期において連結子会社 2 社（株式会社だいもんおよび株式会社富士水産）の整理をする方針を決定したことに伴い、関係会社整理損失引当金繰入額 68 百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期通期業績予想の修正

連結業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,580	140	75	△35	△3.76
今回修正予想 (B)	5,275	128	59	△40	△4.37
増減額 (B - A)	△305	△12	△16	△5	—
増減率 (%)	△5.5%	△8.6%	△21.3%	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	5,624	87	57	15	1.77

個別業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,650	140	65	△45	△4.84
今回修正予想（B）	4,369	149	88	△50	△5.47
増減額（B－A）	△281	9	23	△5	－
増減率（％）	△6.0％	6.4％	35.4％	－	－
（ご参考）前期実績 （平成 25 年 3 月期）	4,573	119	65	8	0.98

※当社は、平成 25 年 9 月 30 日を基準日として、普通株式 1 株につき 100 株の割合をもって株式分割しております。なお、上記、1 株当たり当期純利益につきましては、前期首に当該株式分割が行われたものとして算定しております。

3. 業績予想修正の理由

個別業績につきましては、店舗売上高の伸張が当初予想を下回ったこと等により、売上高は前回業績予想を 281 百万円下回る 4,369 百万円となる見込みであります。一方、営業利益は、原価率の改善や不採算店舗の閉鎖、本社経費の圧縮等を図った結果、前回業績予想を 9 百万円上回る 149 百万円、また、経常利益は、主に保険料収入等営業外収益の計上及び貸倒引当金繰入額等の営業外費用の減少が寄与し、前回業績予想を 23 百万円上回る 88 百万円となる見込みであります。なお、当期純利益は、店舗閉鎖損失等特別損失の増加により前回業績予想を 5 百万円下回る△50 百万円となる見込みであります。

連結業績につきましては、個別業績に加え、連結子会社である株式会社関門福楽館の売上不振もあり、売上高は前回業績予想を 305 百万円下回る 5,275 百万円となる見込みであります。また、個別業績及び連結子会社の売上減少の影響等により、営業利益は前回業績予想を 12 百万円下回る 128 百万円、経常利益は前回業績予想を 16 百万円下回る 59 百万円、当期純利益は前回業績予想を 5 百万円下回る△40 百万円となる見込みであります。

以 上